

本誌は、県民の皆様に山梨県子ども読書支援センターのことをより深く知っていただくため、当センターの事業や活動内容について情報発信するものです。

>>12月の子ども読書支援センター事業関連の問い合わせ件数

12月に窓口または電話等で寄せられた問い合わせ件数：25件

>>平成24年度子どもの読書活動指導者養成講座の全日程を終了しました。

3年目になる本講座は平成24年7月から平成25年1月まで全5回、幼稚園や保育所の方を対象として実施しました。

申込があったうち80名の方に受講していただき、講座の8割以上に出席した19名の方が修了しました。ボランティア等を対象とした平成22年度の29名、図書館職員を対象とした平成23年度の24名と合わせて、講座の修了者は72名になりました。



今年度は、子どもに絵本を読んであげる際の年代毎の注意点、わらべうた、科学絵本、言葉の力についてそれぞれの専門家にお越しいただき、実践を交えながら講義をしていただきました。



講座の後のアンケートでは、毎回6割以上の方から「満足」との回答をいただきました。これも受講者の皆様の、講座から何かを学んでいこうという意識の高さによるものだと思います。お忙しい中ご参加いただいた方々に、改めてお礼を申し上げます。

今後も、子ども読書支援センターでは子どもの読書に関わる方々に向けて研修の機会を提供していきます。皆様のご参加をお待ちしております。

>>平成24年度子ども読書推進フォーラムを開催しました。

平成25年1月27日(日)、NPO法人山梨子ども図書館と山梨県立図書館が、子ども読書推進フォーラム「言葉でたのしむ言葉をたのしむおはなし会 ことば・ことば・ことば」を開催しました。

参加者は親子連れなど90名。詩「あいさつ」(『のはらうた』1(くどうなおことのはらみんな/作、童話屋、1984年)より)に始まり、ストーリーテリング、わらべうた、絵本の読み聞かせ、なぞなぞ等、言葉を色々な角度から楽しめるプログラムでした。

みんなで一緒に大きな声を出したり、わらべうたで体を動かしたりしながら、言葉で遊びました。子どもも大人もとても楽しそうで、皆様笑顔で帰って行かれました。



>>図書館の職場見学

新館開館から1ヵ月半が経過した今年1月、幼稚園や保育所、学校等の見学申込数は36件でした。

「館内の説明をしてほしい」「見学中におはなし会をしてほしい」等、ご要望があればご相談に応じます。詳しくは子ども読書支援センター(電話:055-255-1040(代表))にお問い合わせください。山梨県立図書館ホームページ内、子ども読書支援センターのページにある学校支援の項目から、申込書等をダウンロードすることができます。そちらもご覧ください。

(http://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/syokuba_taiken.html)